【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和6年5月20日(2024.5.20)

【公開番号】特開2022-183847(P2022-183847A)
【公開日】令和4年12月13日(2022.12.13)
【年通号数】公開公報(特許)2022-229
【出願番号】特願2021-91348(P2021-91348)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ 23/63(2023.01)
Ｈ０４Ｎ 23/60(2023.01)
Ｈ０４Ｎ 5/77(2006.01)
Ｇ０３Ｂ 17/18(2021.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ 5/232939
Ｈ０４Ｎ 5/232
Ｈ０４Ｎ 5/77
Ｇ０３Ｂ 17/18 Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和6年5月9日(2024.5.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮像装置であって、
撮像手段と、
前記撮像装置の温度を取得する温度取得手段と、
前記温度取得手段で取得した温度に基づき、撮影可能時間を算出する算出手段と、
前記撮像手段により取得した動画を、前記撮像装置に装着された記録媒体に記録する記録手段と、
前記撮像手段により取得した動画を動画外部に出力する外部出力モードを設定する設定手段と、
前記外部出力モードが設定されている場合に、前記撮像手段により取得した動画を、前記撮像装置に接続された外部機器に出力する出力手段と、
前記記録媒体が前記撮像装置に装着されていない場合であっても、前記外部出力モードが設定されている場合は、前記算出手段により算出された前記撮影可能時間に関する情報を表示手段に表示するように制御する制御手段と、
を有することを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
前記外部出力モードが設定されている場合は、動画の記録開始の指示に応じて、前記出力手段により出力された動画が外部機器により記録されるように制御する記録制御手段を有し、
前記記録制御手段は、前記外部機器による動画の記録中に、前記撮影可能時間の残りがなくなったことに応じて前記外部機器による動画の記録を停止するように制御することを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項３】

前記記録制御手段は、前記外部機器による動画の記録中に前記撮影可能時間の残りがなくなると、前記外部機器による記録の残容量が残っていても前記外部機器による動画の記録を停止するように制御することを特徴とする請求項２に記載の撮像装置。
【請求項４】
前記制御手段は前記記録媒体が前記撮像装置に装着されておらず、前記外部機器が前記撮像装置に接続されていない場合、前記外部出力モードに設定されていても、前記撮影可能時間に関する情報を前記表示手段に表示しないように制御することを特徴とする請求項１から３のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項５】
前記記録媒体が前記撮像装置に装着されている場合、前記算出手段は、前記記録媒体の残容量に基づいて撮影可能時間を算出し、
前記制御手段は、前記温度に基づいて算出された撮影可能時間と、前記記録媒体の残容量に基づいて算出された撮影可能時間と、のうち、短い方の撮影可能時間に関する情報を前記表示手段に表示するように制御することを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項６】
前記記録媒体が前記撮像装置に装着されておらず、前記外部出力モードに設定されていない場合、前記制御手段は、前記撮影可能時間に関する情報を前記表示手段に表示せず、前記撮像装置に記録媒体が装着されていないことを示す情報を前記表示手段に表示するように制御することを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項７】
前記制御手段は、前記撮像手段により得られたライブビュー画像と共に前記撮影可能時間に関する情報を表示するように制御することを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項８】
前記記録制御手段は、前記外部出力モードが設定されている場合に、動画の記録開始の指示に応じて、前記撮影可能時間に関する情報の表示を非表示にし、前記動画の記録開始からの経過した時間を示す情報を前記表示手段に表示するように制御することを特徴とする請求項２に記載の撮像装置。
【請求項９】
前記制御手段は、前記外部出力モードが設定されている場合に、前記撮影可能時間に関する情報と共に、前記外部出力モードであることを示す情報を、前記撮像手段により得られたライブビュー画像と共に表示することを特徴とする請求項１から８のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項１０】
前記記録制御手段は、前記外部出力モードが設定されている場合に、前記外部機器が接続されていなければ、前記記録媒体が装着されているか否かにかかわらず、動画の記録を開始しないように制御することを特徴とする請求項１から９のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項１１】
前記制御手段は、
前記記録媒体が前記撮像装置に装着されている場合は、前記外部出力モードが設定されているか否かに関わらず前記撮影可能時間に関する情報を前記表示手段に表示するように制御し、
前記記録媒体が前記撮像装置に装着されてない場合は、前記外部出力モードが設定されているときは前記撮影可能時間に関する情報を前記表示手段に表示するように制御し、前記外部出力モードが設定されていないときは前記撮影可能時間に関する情報を前記表示手段に表示するように制御する、
ことを特徴とする請求項１から９のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項１２】

撮像手段を有する撮像装置の制御方法であって、
前記撮像装置の温度を取得する温度取得ステップと、
前記温度取得ステップで取得した温度に基づき、撮影可能時間を算出する算出ステップと、
前記撮像手段により取得した動画を、装着された記録媒体に記録する記録ステップと、
前記撮像手段により取得した動画を外部に出力する外部出力モードを設定する設定ステップと、
前記外部出力モードが設定されている場合に、前記撮像手段により取得された動画を、前記撮像装置に接続された外部機器に出力する出力ステップと、
前記記録媒体が前記撮像装置に装着されていない場合であっても、前記外部出力モードが設定されている場合は、前記算出ステップにより算出された前記撮影可能時間に関する情報を表示手段に表示するように制御する制御ステップと、
を有することを特徴とする撮像装置の制御方法。
【請求項１３】
コンピュータを、請求項１から１１のいずれか１項に記載された撮像装置の各手段として機能させるためのプログラム。
【請求項１４】
コンピュータを、請求項１から１１のいずれか１項に記載された撮像装置の各手段として機能させるためのプログラムを格納したコンピュータが読み取り可能な記録媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記課題を解決するために、本発明の撮像装置は、
撮像手段と、前記撮像装置の温度を取得する温度取得手段と、前記温度取得手段で取得した温度に基づき、撮影可能時間を算出する算出手段と、前記撮像手段により取得した動画を、前記撮像装置に装着された記録媒体に記録する記録手段と、前記撮像手段により取得した動画を動画外部に出力する外部出力モードを設定する設定手段と、前記外部出力モードが設定されている場合に、前記撮像手段により取得した動画を、前記撮像装置に接続された外部機器に出力する出力手段と、前記記録媒体が前記撮像装置に装着されていない場合であっても、前記外部出力モードが設定されている場合は、前記算出手段により算出された前記撮影可能時間に関する情報を表示手段に表示するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする。